

花と緑のネットワーク通信

No. 2 (2010年2月1日発行)

2010年1月11日（月・祝）札幌エルプラザで、さっぽろ花と緑のネットワークのキックオフイベント「さっぽろ花と緑のまちづくり」を開催しました。その様子をご報告します。

ポール・スミザーさん講演会「まちに緑の回廊をつくる」



自然の力を活かす

わたしは東京都三鷹市に10年以上住んでいました。その時の経験をもとにお話しします。

当時の事務所の前には大きな木があり、鳥たちが来ていました。その根元には、いつのまにか植物が勝手に生えてきて、それを活かすことで思いもよらぬ面白い植栽になりました。

緑はただ並べていれば良いのではなく、いろいろな種類の植物があると様々な生き物たちが集まります。わたしは農薬を使いませんが、あまり人目に付かない所には、虫に食べられてもいい植物も植えておきます。他から虫が来るということは、緑が健康な証拠です。同じ植物を連續させずに間に別の植物を植えると、病気や虫の害も広がりにくくなります。生き物が住みやすい環境をつくる、土地にあった植物を植えるなど、自然が持つ力を活かし、「複雑」にすることが大切です。

また、子どもたちと一緒に緑の世話をしてください。小さい時に植物に触れる経験をすると、大人になった時に園芸と関係のない職業に就いても、子どもの頃を思い出して良い判断が出来るようになるはず。園芸にはその力があると思います。

私たちにできること

思わぬことが起こっても、めげずに緑の世話を続けていると、緑に興味のなかった人も気にかけてくれるようになります。また、マンションや街路などでステキな植栽を見つけた時は、担当している人をほめて下さい。よいところを認めて伝えることも、緑をよりよくする上でとても大切なことです。



街の中の緑は、私たちが提案をして新しくつくることも、改善していくこともできます。経費は大きな課題ですが、工夫して減らすこともできます。大きくて高価な木ではなく、2~3年ものの若い木を植えた方が根付きもよく、数年後にはりっぱな木になる可能性が高くなります。また、剪定が必要な木ばかりではなく、日陰を好む多年草を使うなどして維持費を節約することもできます。

北海道の野草は種類も多く、良いものがたくさんあります。身近にあるグラス類や多年草、ハマナスなどを上手に使い、その場所に合うものを植えると、肥料や消毒も不要となり手入れも楽になります。札幌は1年の半分が雪に閉ざされていますが、むしろ雪が「ふとん」となって多年草を守ってくれます。

緑の回廊をつくるには、川や道路、線路沿いも重要な要素です。そして身近な緑を守り、育てるにはみんなの協力が必要です。自分ができることは小さなことかもしれないけれど、花が咲くと嬉しくなるし、生き物たちもやって来ます。地域の人たちと一緒に取り組むと、愛着を持って見守ってくれたり、水やりをしてくれたりするようになります。そうやって、緑も人もつながっていくのです。

講演会には、300人以上の方にご来場いただきました。ポールさんは、身振り手振りやジョークを交えながら、ここではご紹介しきれないほど、たくさんの参考になるお話をしてくださいました。雪が解けたら、もう一度身の周りをよく観察して、活かすところ、手を入れるところを見つけて、みんなでみどり豊かなまちにしていきたいですね。

※掲載内容についてはポール・スミザー氏の了解を得ています。





準備後の会場。お客様が来るのを待つばかり

花と緑の まちづくり

パネル・ブース 交流会



フォレスターーズクラブのしおり作りが人気

出展団体

<ブース>

- ① AMA サポーターズ俱楽部
- ② 豊平公園花とハーブの会
- ③ フォレスターーズ・クラブ

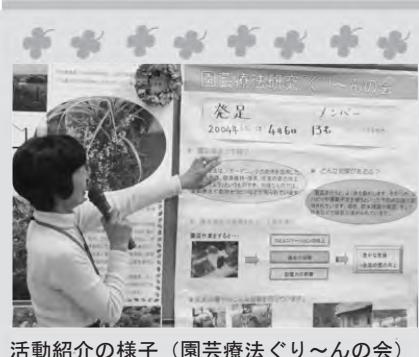
<パネル>

- ① 芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会
- ② グリーンエプロンズ
- ③ 花の会
- ④ ゆめガーデンサポートーズ
- ⑤ NPO法人公園ねっとわーく
- ⑥ まちづくりサルビア会



各団体の発表に熱心に耳を傾ける参加者

- ⑦ 園芸療法 “ぐり～んの会”
- ⑧ さっぽろ緑花園芸学校
- ⑨ 恵み野の花のまちづくり
- ⑩ NPO法人ガーデンアイランド北海道
- ⑪ 市立札幌病院ボランティアの会
やさしさ・ジェントル
- ⑫ 新琴似六番通街づくりクラブ
- ⑬ モイレH I D A M A R I
- ⑭ 前田森林公園凸凹クラブ
- ⑮ 星観緑地 タチアオイの会
- ⑯ 平岡みどりの輪
- ⑰ ガーデニング リラの会
- ⑱ 北海道立 花・野菜技術センター
- ⑲ 滝野公園フラワーガイドボランティア
- ⑳ 北海道立林業試験場



活動紹介の様子（園芸療法ぐり～んの会）

パネル・ブース展には、20を超える団体が出展。特色ある展示が会場にならびました。

交流会では、出展団体の方々が活動をアピール。公園や街路の緑化、園芸を通じた健康や生きがいづくり、地球環境全体を見渡した花や緑、森を豊かにする取組みについて知ることができました。

時間配分、会場の配置など、至らない点もあり、ご迷惑おかけしましたが、今回の経験を今後の活動に生かしたいと思います。



花とハーブの会のハーブティでリラックス

参加者の声

(アンケート結果から一部を紹介します)

★ポール・スミザーさん講演会

- ・ユーモアあふれる話が楽しかったです。
- ・きれいに花を咲かせようと必死で、つい薬に頼ってしまいますが、自然の力で充分だということが分かりました。
- ・庭を複雑にするということに共感しました。
- ・大変参考になりました。虫に対する考え方を変りました。
- ・花・緑に関して興味がなかった私ですが「何かしてみよう」という気持ちにさせてくれる話でした。

★交流会&パネル・ブース展示

- ・こんなにたくさんのグループがボランティア活動をしている。その発見だけで驚きでした。
- ・いくつかの団体に入ろうかと思いました。
- ・時間的にルーズなように感じました。また、パネル展と合同で気持ちが落ち着かない。
- ・机、椅子等を十分な形で用意して頂きたかったです。

ネットワーク登録状況 (2010年2月1日現在)

さっぽろタウンガーデナー (171名)			
中央区	18 名	北 区	30 名
西 区	10 名	東 区	30 名
豊平区	14 名	南 区	14 名
白石区	7 名	厚別区	22 名
清田区	9 名	手稲区	15 名
その他	2 名		

花と緑のボランティア団体 (13団体)

- グリーンエプロンズ
- AMA サポーターズ俱楽部
- 芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会
- ゆめガーデンサポートーズ(南羊ヶ丘町内会)
- 平岡みどりの輪
- 豊平公園花とハーブの会
- 市立札幌病院ボランティアの会 やさしさ・ジェントル
- 東札幌病院ボランティアグループ いすみ
- 園芸療法“ぐり～んの会”
- 新琴似六番通街づくりクラブ
- 環境サポートーズ「三次郎の会」
- 花の会
- ガーデニング リラの会

1983年4月に開院した東札幌病院は、ホスピス・ケアで全国的に知られています。この病院の特色の一つが、病院開院と同時に発足したボランティア組織「いすみ」です。チームアプローチを必要とするホスピス・ケアでは、ボランティアも医療チームの一員です。ボランティアの存在が、患者と地域住民の交流を促し、地域に開かれた医療づくりにつながります。

現在「いすみ」で活動するボランティアは60名。年代は10~80代と幅広く、活動内容も絵画やちぎり絵、ソーアイング、茶話会など多岐に渡ります。園芸活動はその一つ。院内のあちこちにはボランティアの手によって鉢植えの花や木が飾られており、暖かい季節には病院の周りの花壇が花でいっぱいになります。屋上には冬でもさまざまな植物が楽しめる「ソルガーテン」という空間もあります。

「植物園には、立派な植物がいっぱいあるけれど、ここは手作りでゆったりリラックスできる雰囲気なのが自慢」とボランティア・コーディネーターの白石典子さん。病院の患者さんたちも「まるで家にいるみたい」と喜んでいます。

東札幌病院には、白石さんたち自身も把握しきれないほど多様な植物が植えられています。なかには病院で人生を終えた患者さんのご遺族が、ボランティアさんに感謝の気持ちを込めて贈った鉢植えもあります。

想い出がつまり、ひとつ手入れの仕方が違うそれらの植物を、水をやったり、花がらをとったりと、ボランティアの人たちが丹念に世話をしています。

入院患者さんたちにとって、病院は治療だけではなく生活のための空間です。身の回りに植物=自然があること、言葉を交わし合う地域の人たちがいることが、患者さんたちのQOL（クオリティ・オブ・ライフ=生活の質）を高め、治療にもいい影響を与え、ここで人生を終える人たちにも充実した時間を提供しているかもしれません。



屋上に設置された
レイズド・ベッド

代表者：荒幡みよこ

連絡先：札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35

TEL:011-812-2311 Email:vo-izumi@hsh.or.jp

(連絡責任者：白石典子)

みどりのたね —緑を育てるヒント—

「シュッコンアマの育て方」

用意するもの

- タネ：茶色の3mm位のゴマのような形のタネ
- 容器：あまり深くなく、底に穴のあいたもの
イチゴパックや卵ケースでもOK
- トレー：容器の下にしく
- 用土：肥料分が無く、水はけが良い清潔な土
あらかじめ湿らせておく

苗の作り方

- 蒔き時：3月下旬（それより早いと、日が短く徒長しやすい）
- 蒔き方：一粒ずつ、5cm前後の間隔で5~6mmの深さに蒔き、土をかぶせ指でちょっと押す
- 発芽まで：トレーにのせて底面吸水（腰水）
乾燥を防ぐため、霧吹きをしてティッシュペーパーをかぶせて日なたへ。室温20~25°C、7~10日くらいで発芽

かつて北海道では繊維加工用に、アマの栽培をおこなっていました。産業用のアマは1年草ですが、多年草のシュッコンアマは花も大きく、鑑賞用として親しまれています。

シュッコンアマの苗作りのポイントをAMAサポートーズ俱楽部の走川貴美さんにお聞きしました。

タネは園芸店の他、AMAサポートーズ俱楽部でも販売しています。4ページの「アマ苗育ての親説明会」も参照してください。

○発芽後：かぶせてあったティッシュペーパーは取り除き、薄い液肥を与える。日当たりの良い涼しいところへ。日中は外に出し、気温が下がる夜だけ室内へ。4月中旬頃からは外に出しっぱなしでOK。本葉が出たら腰水はやめて、上から静かに水やり

○植付け：10cm位まで育ったら（札幌の場合は5月中旬くらい）根を崩さないように10cm間隔で定植

直播の場合は5月末頃にはばらばらと蒔く

○開花：8月～（2年目以降は5月末頃から）

○秋には：根元から10cmくらいでカット。翌年は株が一回り大きくなって、花の数もぐんと増えますよ！





インフォメーション



市民講座 北国のガーデニング樹木

北海道立林業試験場との共催で、北海道自生の樹木などを使ったガーデニング講座を行います。

◆第1回「ガーデニングに使ってみたい北海道の樹木」

・2月17日（水）18：30～20：00

・講師：清水一（緑化樹センター主任研究員）

◆第2回「樹木の植やし方」

・講師：脇田陽一（緑化樹センター生産技術科長）

・2月24日（水）18：30～20：00

◆定員：各回50名

◆会場：札幌エルプラザ2F 環境研修室（北区北8西3）

◆問合・申込：さっぽろ花と緑のネットワーク事務局

TEL 011-251-3309 FAX 011-211-2577

北国のガーデニング知識検定

北海道の気候に適した庭づくり、自然豊かな北海道の魅力、環境や植物への関心や知識を持つ人を育てる検定です。（公式テキスト「北国のガーデニング」）

◆実施日：3月13日（土）10:00～11:30

◆申込締切：2月26日（金） ◆受験料：5,000円

※試験対策講習会も開催します。

2月6日（土）、13日（土）10:00～16:00

受講料5,000円／北海道経済センター（北1西2）

◆問合・申込：札幌商工会議所 産業3課

TEL 011-231-1375 FAX 011-222-5215

Email:sangyo3@sapporo-cci.or.jp

<http://www.sapporo-cci.or.jp/garden>

ココにある！活動のヒント

◆北海道環境サポートセンター

TEL 011-218-7881 <http://www.heco-spc.or.jp/>

環境関連イベント・人材・施設等に関する情報提供。

◆北海道立市民活動促進センター

TEL 011-261-4440

<http://www.do-shiminkatsudo.jp/>

会議スペースや印刷機の利用。市民活動相談など。

◆北海道NPOサポートセンター

TEL 011-204-6523 <http://npo.dosanko.org/>

NPO法人設立のサポート、団体の運営スキルなど。

アマ苗育ての親説明会

北8条通に植えるアマの苗を、種から育てるボランティアを募集しています。

◆日時：3月22日（月・祝）10:30～12:00

◆場所：サッポロビール博物館1階ホール

（東区北7東9／アリオ札幌の隣・無料駐車場有）

札幌駅北口からアリオ札幌、札幌ビール園行き

バスが出てます。（片道200円）。

◆参加方法：直接会場にお越し下さい。

苗植えキットをお渡します。

◆お問合せ：AMAサポートーズ俱楽部

FAX 011-731-5853（走川貴美まで）



さっぽろ緑花園芸学校第3期受講生募集

財団法人札幌市公園緑化協会では、花や緑を通じて地域や社会に貢献できるボランティアや都市緑化のサポーターを養成する「さっぽろ緑花園芸学校」の受講生を募集します。

園芸学校では、ボランティアや園芸の基礎、緑化技術などについて学ぶ講義（全45回）、植物の管理や園芸福祉、イベント企画について実践する実習（全25回）を行っています。植物に関わるボランティアに興味がある方をお待ちしています。

※申込書は2月上旬より各区役所や百合が原公園・豊平公園などで配布。

通年受講は2月25日（木）締切予定。

◆期間：2010年4月8日（木）～2011年3月24日（木）

◆講義：木曜日18：15～20：15

札幌エルプラザ2F 環境研修室（北区北8西3）

◆実習：原則土曜日10：00～15：00

百合が原公園、豊平公園など

◆通年受講：1年間を通して全講義・実習を受講

受講料 30,000円

◆講義選択：選択した講義のみを受講

受講料 1講義600円

◆お問合せ：TEL 011-211-2579

<http://sapporo-park.or.jp/>

掲載情報募集しています

イベント案内・ボランティア募集など、掲載希望の情報がありましたら、事務局にお知らせください。

情報締切：奇数月15日（次月と次々月の情報を掲載）

※都合により掲載できない場合もあります。

発行・編集 さっぽろ花と緑のネットワーク事務局

札幌市中央区北1条東1丁目ニューワンビル4階

財団法人札幌市公園緑化協会内

TEL : 011-251-3309 FAX : 011-211-2577

E-mail:flowers@sapporo-park.or.jp

<http://www.sapporo-park.or.jp/flowers/>

